



至誠の泉

甲斐市立双葉中学校
学校だより
発行 校長 加藤 忍

令和8年度 5月号
2026.5.7 大安

○5月1日 PTA 総会で話したこと=生徒は聴いていないので、ここで紹介します

4月初め、市立双葉図書館で「世界のことわざ108」(I)・I)著、王様文庫)を手にして読みました。その本の中からメモしておいた3つの世界のことわざを、保護者の方にお話ししました。

- ① 『**背負われて旅した子どもは、どこまで来たかわからない**』(アフリカ)
誰しも、いつかはひとりで歩かなければならないときがきます。過保護にも放任にもならず、ちょうどいいあんばいに子育てにかかわりたい。生徒の皆さんには、段階的な「自立」を期待します。
- ② 『**小鳥は花の蜜で育つが、人の子どもは言葉で育つ**』(サモア)
日本の子どもは短所を指摘され、叱咤激励されて育つ傾向があります。しかし、けなされて萎縮して育つより、(言葉で)ほめられて伸び伸び育つ方が気持ちいいと思います。
- ③ 『**トマトの木に、マンゴーはならない**』(フィリピン)
よりよい学校や職業に子どもを導こうとするのは、子どもの末永い幸福を願う親心です。自分が果たせなかった夢を子どもに託し、つい高望みしたり、子どもが描く将来の夢に余計な口を挟みたくなくなります。トマトの木にマンゴーをならせようと期待しても失望します。それより、より甘く、みずみずしいトマトとして実るように、日に当て、水を絶やさず、たくさんの養分を届けることが大切と教えてくれました。

そのとき、私は学級担任時代によく利用した相田みつをさんの「トマトとメロン」の詩を思い出しました。この言葉を発するのは、本当に久しぶりになります。

『**トマトとメロン**』 ↓相田みつを「**にんげんだもの**」より

トマトにねえ いくら肥料をやったってさ
メロンにはならねんだなあ

トマトとね メロンをね
いくら比べたって しょうがねんだなあ

トマトより メロンの方が高級だ
なんて思っているのは
人間だけだね

それも 欲のふかい人間だけだな

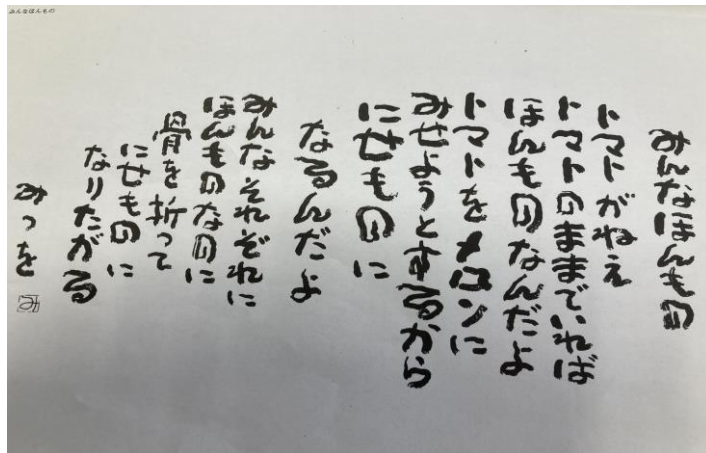
トマトもね メロンもね
当事者同士は 比べも競争もしてねんだな

トマトはトマトのいのちを 精一杯生きているだけ
メロンはメロンのいのちを いのちいっぱい
生きているだけ

トマトもメロンも
それぞれに 自分のいのちを
百点満点に生きているんだよ

(以下、略)

PS
この詩にはあと少し続きがあります。
検索して調べてみてください。



(↑上の詩は、詩集「いのちいっぱい」所収)

※相田みつをさん

書家・詩人 栃木県足利市生まれ
(1924年生まれ、1991年没)

東京銀座に「相田みつを美術館」があります
作品例「つまづいたっていいじゃないか にんげんだもの」



部活動の記録 (4月25日～5月3日) (個人名は、学校HPにおいてはイニシャル表記をしています)

- バレー女子 県選手権中巨摩ブロック戦 1回戦 0-2 白根御勅使中に敗退
拾ってつないで、決して内容は悪くありません。ほんの少しの差。県総体で歓喜が見たい。
- バスケ女子 県選手権中巨摩ブロック戦 1回戦 50-35 白根巨摩中に勝利
2回戦 4-141 敷島中に敗退 5位～8位決定戦 24-41 押原中に敗戦
中巨摩地区7位(8位)として、5月24日(日)念願の、県大会本戦に出場へ。
♪「涙の数だけ強くなれるよ～」TOMORROWがピッタリの、フタバビーズたちでした。
- バスケ男子 県選手権中巨摩ブロック戦 1回戦 44-45 若草中に惜敗
第1Q終了6-14劣勢。第3Q終了33-28リード。シーソーゲームの末、わずかに1点差涙。
この悔しさ、「あきらめたら、そこで試合終了ですよ。」(スラムダンク安西監督の言葉)
- 野球 県選抜大会中巨摩交流戦(シード決め試合) パート決勝 7-4 楯形中に逆転勝ち
昨秋同様、双葉ナインの試合に感動しないゲームはありません。今回も全員野球でした。
5月16日(土)からの県大会に出場します。近々、山日新聞に選手紹介記事が載ります。
- 陸上 県中学普及記録会
男子100M A決勝 第3位 Oさん 150M 第2位 Oさん
男子110M障害 第7位 Mさん 女子100M B決勝 第7位 Aさん
女子走高跳 第1位 Iさん1m40(Iさんは4月小瀬コバルで1m45跳んでいます)
(3月下旬にあった南関東大会には、この他に、Uさん、Sさん、Yさん、Aさんが出場しました。)

○山日新聞「私も言いたい」に投稿『**双葉中学生の意見**』(職員室廊下に掲示あり。読んでみて)

- 4月10日付 「海について学び、守る意識高める」 3年 Iさん …海の問題と自分の生活提起
- 4月17日付 「まず国産食品を味わうことを提案」 3年 Tさん …日本の食料自給率を考える
- 4月24日付 「互いに尊重して、平和に近づく」 3年 Tさん …国際問題から世界平和願う
- 4月29日付 「海を守るためにプラごみなくす」 3年 Nさん …ごみ問題、地球の未来を守る
- 5月 5日付 「必要分だけ買い、食べきる努力を」 3年 Aさん …食品ロスと私たちの意識

○ラザでの出来事

4月22日、ラザウオークであった出来事を紹介します。モール担当の方より学校に電話が入りました。「お客様がエスカレーターから落ちてしまう事故がありました。そこへ中学生4名が、ケガを負ったと思われる方にすぐ声を掛けてくれたり、救急車を呼んだり、店員さんと呼びに行ったり、チームで素早い対応をしてくださいました。とても助かりました。」と、感謝の言葉でした。続けて、「今の時代、人助けが自然にできる中学生がいることがすごいと思いました。お名前を聞きそびれてすみませんでした。」と、お褒めの言葉をいただきました。



後日、学校で全校生徒に尋ねると、それは3年生男子4名、女子2名であることがわかりました。6名の生徒、善意善行をありがとう。さすが最上級生です。

○合言葉 『**みんななかよく**』～甲斐市にできた「**山梨いちごの王さまミュージアム**」に学ぶ

双葉SA近く、ドラゴンパーク付近にサンリオ創業者、辻信太郎記念館がオープンしました。辻さんは甲府市出身、サンリオ設立の原点は、甲府空襲にあったのです。終戦後、人と人が仲良くなれる手段を模索し、幼少期に贈り物をもらったことに感銘を受けた経験から「小さくてかわいいギフトを届けたい」という思いが創業につながったそうです。これがサンリオキャラクターの誕生や、企業理念「みんななかよく」の基盤になっているとのこと。



あたりまえですが、人は一人では生きていけません。大きくいえば、世界平和のために私たちは何ができるのか、身近なことでは、学校生活の安心のため、皆さんは何を考えてどんな思いやり行動を実行していくか、一歩ずつ一歩ずつ前に進んでいきませんか。新年度が1ヶ月経過しました。キティちゃんから考えたい今日この頃です。さあ、3年修学旅行、2年宿泊学習、1年校外学習にそれぞれ行きます。

